



持留・岡別府地域保全協議会が

『生き物引っ越し大作戦!!』



持留・岡別府地区を通る広域農道・通称グリーンロードのシンボルマーク的存在「大崎中央大橋」の下には、大崎町でも珍しい湧水池が存在します。

本年度、持留川左岸において『岡別府地区ほ場整備』が施工されることになっていますが、これに先立って行われた調査で、この湧水池には、非常に貴重な生物が生息していることが分かりました。

持留・岡別府地域保全協議会では、この貴重な生態系を守るため、大がかりな引っ越し大作戦を計画しました。

平成19年9月9日(日)、この大作戦の呼びかけに参集したのは、持留小学校の児童、地域住民ほか総勢120人。

参加者は、足に長靴、手には網を持ち、いよいよ大作戦開始。子どもはもろんのこと、大人も童心に戻り、笑い声や歓声が響きました。

引っ越しした生き物は、ニホンアカガエルやトノサマガエル、コガタノゲンゴロウ、ナベバタムシなどの準絶滅危種を含めたもので、子どもたちの中からは、「持って帰りたい」などの声も聞こえてきた一日でした。



▲大崎中央大橋下の水路にて…。